



The Coca-Cola Educational &
Environmental Foundation

報道関係各位

2010年6月23日
財団法人コカ・コーラ教育・環境財団

6 大学より学生が参加 『コカ・コーラ学生環境サミット』 大学生が世界に向けて生物多様性への意見を提言 10月開催のCOP10にて英語で発表

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団（所在地：東京都港区 理事長：末吉紀雄）が主催する「コカ・コーラ学生環境サミット」は、今年度実施している生物多様性に関する議論の集大成として、10月に名古屋で開かれる生物多様性条約締約国会議（COP10）にて生物多様性に関する意見提言を行うことが決定いたしました。

これは、環境マインドを持った次世代リーダー育成に力を入れている当財団が、生物多様性について、日本の大学生が議論を深め、世界に学生達の意見を発信することにより、日本国内のみならず、世界規模でこの問題についてリーダーシップを発揮し、また、一緒に考えていく機会を提供する趣旨により実現する運びとなりました。当サミットの学生達は、この大舞台で世界に向けて、全編英語でのプレゼンテーションを実施し、日本の学生代表として世界中に意見を提言いたします。

尚、当サミットには、国連環境計画 金融イニシアチブ特別顧問の末吉竹二郎氏及び日本コカ・コーラ社 魚谷雅彦会長がアドバイザーに就任しており、COP10での10月の意見提言まで、両氏は学生達の指導とともに、ディスカッションなどにも参画してまいります。

コカ・コーラ学生環境サミットは、4月のキックオフミーティングでのディスカッション後、3つの分科会に別れ、COP10での意見提言に向けて、生物多様性に関する勉強と議論を進めています。今後の活動予定としては、7月10日に、当財団及び環境省共催のCBD-COP10/MOP5 カウントダウン 100 フォーラム「コカ・コーラ学生環境サミット ネクスト・ジェネレーション国際集会」にて、日本の大学に留学している世界各国の大学生を招き、国際ラウンドテーブルを行います。このラウンドテーブルでは海外の学生とともに各国の生物多様性に関わる課題や解決に向けた方策について議論を行う予定です。

また、8月初旬には、北海道の「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」にて行われる中間報告で、アドバイザーの末吉氏と魚谷氏に、本番さながらのプレゼンテーションを行います。世界の第一線で活躍してきた末吉氏、魚谷氏のアドバイスを受け、世界に向けて意見提言を作り上げていきます。

COP10で実施するプレゼンテーションの後は、報告書を英語・日本語の2種類作成し、環境省や環境保全に尽力する国際機構に提出する予定です。

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団では、今後もコカ・コーラ学生環境サミットをはじめとした社会貢献事業の展開に努め、「心豊かでたくましい人づくり（Healthy Active Life）」を理念に、国際社会が求める環境マインドを持った青少年の育成と彼らを取り巻く地域社会を支える人材育成を目指してまいります。

本資料は、文部科学省記者会、環境省記者会、
愛知県記者クラブ、名古屋市政記者会にて配布しております。

《大学ネットワーク事業とは》

コカ・コーラ教育・環境財団は、2008年度より「環境マインドを持った次世代のリーダー」育成を目指し、東海大学、東京学芸大学においての寄附講義を中心とした環境・教育プログラム支援活動を実施しています。

2010年、当財団は「環境マインドを持つ次世代リーダー」の育成を緊急かつ重要な課題と捉え、大学ネットワーク事業を拡大し、これまでの東海大学、東京学芸大学に加え、同志社大学において、当財団講師による環境リーダー育成プログラムの寄附講義を実施いたします。また、慶應義塾大学、東京大学が実施する環境・教育プログラムや、早稲田大学の学生団体による環境・教育活動への支援を実施し、次世代リーダーの育成に寄与いたします。

さらに初の取組みとして、環境問題に取り組む強い意思と主体的に行動する力を持つ人材育成を強化するため、「コカ・コーラ学生環境サミット」を主催いたします。大学ネットワークに参加している6大学所属の環境マインドを持つ、21名の学生で組織し、人間の生存、経済・文化的活動全ての基盤である『生物多様性』をテーマに活発な意見交換・議論を展開、活動の集大成として提言をまとめ発表を行います。

大学ネットワーク参加大学一覧：

慶應義塾大学、東海大学、東京大学、東京学芸大学、同志社大学、早稲田大学

《コカ・コーラ学生環境サミット 活動スケジュール》

■キックオフ

4月30日にコカ・コーラ学生環境サミットの大学生が、ファシリテーター末吉氏、アドバイザー一魚谷氏の元、今後の活動の方向性と目標を共有し、活動を開始しました。

■分科会活動

異なるバックグラウンドを持つ大学生達が3つの分科会に別れ、東京と京都にてスカイプ・メールを活用しながら、COP10での意見提言に向けて、生物多様性に関する勉強と議論を進めています。各自が分科会ごとに生物多様性に関する課題と解決策をまとめたレポートを発表し、COP10での意見提言に向けて準備を進めます。

■CBD-COP10/MOP5 カウントダウン100 フォーラム

「コカ・コーラ学生環境サミット ネクスト・ジェネレーション国際集会」

日本の大学に留学している世界各国の大学生を招き、生物多様性に関わる課題や解決に向けた方策について議論を行う国際ラウンドテーブルをコカ・コーラ学生環境サミットが主催します。COP10で世界に向けて提言するにあたり、この集会で世界各国の大学生から寄せられた意見を活用します。

概要

日時：7月10日（土）

会場：東京都渋谷区 国連大学 レセプションホール

主催：財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団

共催：環境省

■中間報告合宿

分科会で学んだことや、ネクスト・ジェネレーション国際集会で世界各国の大学生から寄せられた意見を元に作成したプレゼンテーションをアドバイザーの末吉氏と一魚谷氏に対して行います。世界のビジネスの一線で活躍されてきた両氏から世界に対して効果的にメッセージを発信する際の指導をいただきます。

「コカ・コーラ学生環境サミット中間報告合宿」概要

日時：8月4日～6日

会場：北海道夕張郡栗山町 雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス

参加：コカ・コーラ学生環境サミットメンバー、末吉氏、一魚谷氏

■生物多様性条約第10回会議 COP10 意見提言

世界のリーダーに向けて、生物多様性に関する意見提言を行います。

日時：10月（詳細未定）

会場：愛知県名古屋市（詳細未定）

《コカ・コーラ学生環境サミット メンバー》

＜参加学生＞

小塚 高広 (こづか たかひろ)	慶應義塾大学 理工学部 生命情報学科
野沢 麻美 (のざわ まみ)	慶應義塾大学 文学部東洋史学専攻
武藤 裕也 (むとう ひろや)	慶應義塾大学 経済学部経済学科
鈴木 一星 (すずき いっせい)	東海大学 教養学部 人間環境学科 自然環境過程
坂巻 央 (さかまき あきら)	東海大学 教養学部 人間環境学科 自然環境過程
松井 愛 (まつい あい)	東海大学 教養学部 人間環境学科 自然環境過程
杉山 達彦 (すぎやま たつひこ)	東京大学 工学部 システム創成学科 環境・エネルギーシステムコース
谷 薫幸 (たに しげゆき)	東京大学 工学部 システム創成学科 環境・エネルギーシステムコース
玉村 斉聖 (たまむらひとし)	東京大学 工学部 システム創成学科 環境・エネルギーシステムコース
服崎 耕司 (ふくざき こうじ)	東京大学 工学部 システム創成学科 環境・エネルギーシステムコース
村岡 諒平 (むらおか りょうへい)	東京大学 工学部 システム創成学科 環境・エネルギーシステムコース
志賀 史章 (しが ふみあき)	東京学芸大学 教育学部 環境教育専攻
長南 安香 (ちやうなん やすか)	東京学芸大学 教育学部 環境教育専攻
横山 伸夫 (よこやま のぶお)	東京学芸大学大学院 総合教育開発専攻 環境教育コース
中村 有香 (なかむら ゆうか)	同志社大学 生命医科学部 医情報学科
村田 諒平 (むらた りょうへい)	同志社大学 理工学部 環境システム学科
森岡 杏 (もりおか もも)	同志社大学 法学部 政治学科
浅野 友紀 (あさの ともき)	早稲田大学 先進理工学部 応用物理学科
原山 青士 (はらやま せいじ)	早稲田大学 創造理工学部 資源工学科
引地 慶多 (ひきち けいた)	早稲田大学 創造理工学部 環境資源工学科
山崎 翔一 (やまざき しょういち)	早稲田大学 創造理工学部 環境資源工学科

＜アドバイザー＞

末吉 竹二郎 (すえよし たけじろう) 国連環境計画 金融イニシアチブ特別顧問



67年東京大学経済学部卒業後、三菱銀行入行。89年より米州本部に勤務。ニューヨーク支店長、取締役、東京三菱銀行信託会社（ニューヨーク）頭取を経て、98年6月、日興アセットマネジメント副社長。日興アセット時代にUNEPFIの運営委員会のメンバーに就任。これをきっかけに、この運動の支援に乗り出す。02年6月の退社を機に、UNEPFI国際会議の東京招致に専念。03年10月の東京会議を成功裏に終えた。現在も、引き続きUNEPFIに関わるほか、環境問題や企業の社会的責任（CSR/SRI）について、各種審議会、講演、TV等で啓蒙に努めている。

＜アドバイザー＞

魚谷 雅彦 (うおたに まさひこ) 日本コカ・コーラ社会長



日本コカ・コーラ株式会社社会長。1954年奈良県生まれ。同志社大学卒業後、ライオン入社。83年、コロンビア大学でMBAを取得。89年にヨーロッパの食品メーカーに転じるが後に買収され、クラフトジャパンに転籍。91年、同社代表取締役副社長。94年、日本コカ・コーラに入社、取締役上級副社長に就任。「ジョージア 男のやすらぎキャンペーン」をはじめ、「爽健美茶」「紅茶花伝」などの発売など手がける。2001年、日本人としては26年ぶりとなる代表取締役社長に就任。06年より現職。07年より、株式会社ブランドヴィジョンを設立しNTTドコモの特別顧問を兼務。ドコモブランドの強化をサポートしている。

参考資料

■ 財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団 概要

- 名称： 財団法人コカ・コーラ教育・環境財団
- 英字名称： The Coca-Cola Educational & Environmental Foundation
- 監督行政： 文部科学省
- 許可日： 2007年6月25日
- 理事長： 末吉 紀雄
- 所在地： 東京都港区六本木 6-2-31
- ホームページ： <http://www.cocacola-zaidan.jp/index.html>
- 概要： 財団法人コカ・コーラ教育・環境財団は、2007年6月に37年継続していた日本コカ・コーラボトラーズ育英会と14年継続していたコカ・コーラ環境教育財団の事業を継承し、一元的に運営、推進できる母体として設立されました。心豊かでたくましい人づくり（Healthy Active Life）を理念とし、環境教育、教育支援、スポーツ教育を柱とした貢献事業を企画、提供することにより、国際社会が求める青少年の育成と、彼らを取り巻く地域社会を支える人材の育成を通じ、豊かな国際社会の形成及び国際親善に寄与することを目的に多様な事業を展開しています。
- 主な事業内容：
- 環境教育
環境教育を通じて地域社会、さらには国際社会において次世代リーダーとなる人材育成の支援を目的とした事業を実施しています。
 - 奨学支援
青少年に対する教育支援 次世代を担う青少年の育成を目的に、奨学援護と国際的な交流の機会を提供していきます。
 - スポーツ教育
教育・スポーツ分野における次世代育成、指導者育成事業として全国の青少年を対象に、スポーツを通じた次世代の育成と指導者育成を目的とした事業を行っていきます。